

**多雪地域・台風が多発地域や高所など設置困難な場所に対応可能な
高耐荷重太陽電池モジュールを1月29日(火)に販売開始**

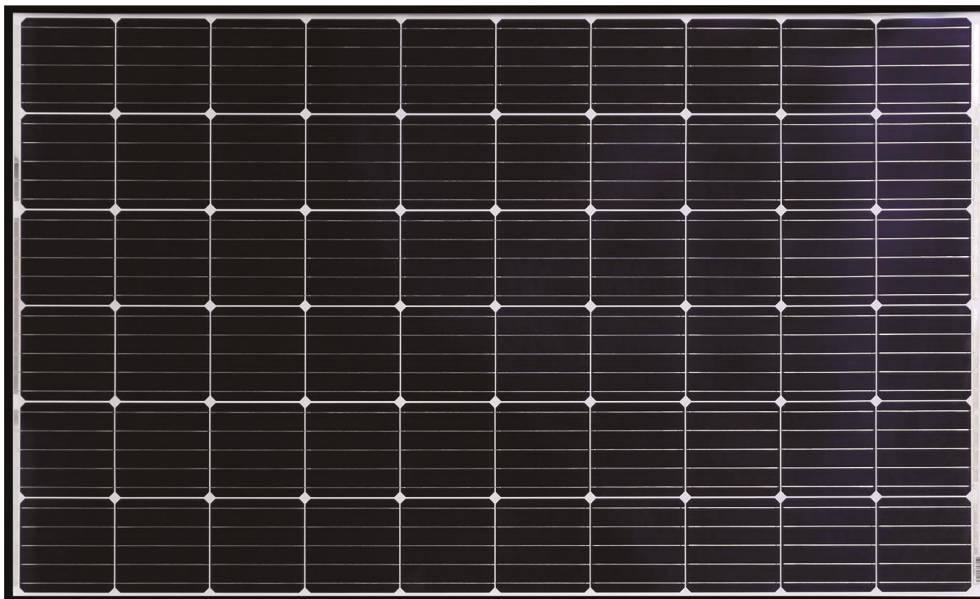
通常品比で積雪荷重2倍弱・風圧荷重4倍超の耐荷重10000Paを実現

自然エネルギー関連の事業を展開するネクストエナジー・アンド・リソース株式会社(本社：長野県駒ヶ根市、代表取締役社長：伊藤 敦、以下「当社」)は、高効率単結晶太陽電池モジュール「NER660M305」と高効率多結晶太陽電池モジュール「NERP156×156-60-P SI 275W」の高耐荷重対応版にあたる「HML660M-305PR」および「HML660P-275」の販売を、2019年1月29日(火)に開始いたします。

本製品は、従来品よりガラスを厚くしフレームを改良することで、積雪荷重・風圧荷重とも機械的耐荷重10000Paを実現。通常品では雪や風の圧力によるモジュールの変形や破損などの被害が生じる危険性が高い場所にも、太陽光発電システムの設置が可能になります。モジュールとしては最大積雪量3m、最大風速46m/s、設置高さ30mに対応が可能であり、北海道や東北地方などの多雪地域や沖縄地方などの台風が多い地域、高所で風の強い場所などへの設置に適しています。

■高耐荷重太陽電池モジュールの特長「HML660M-305PR/HML660P-275」

- (1) 従来品よりガラス厚を厚くしフレームを改良することで耐荷重性が向上
- (2) 積雪荷重(表面)・風圧荷重(裏面)とも機械的耐荷重10000Paを実現
- (3) PERC技術(単結晶のみ)と5本バスバーの採用により高出力を実現



高耐荷重太陽電池モジュール「HML660M-305PR」

